

林 智良
法学研究科・教授

【研究】

まず、中国政法大学にて開催の第6回ローマ法学会にて、イタリア語で発表を行い、京都大学にて開催の日本ローマ法研究会にて日本語で発表を行った。また、三阪佳弘編著『「前段の司法」とその担い手をめぐる比較法史研究』(大阪大学出版会、2019年)にて一章を分担執筆した。トルコのイスタンブール大学法学部から招へい研究員としてアイシェ・エンジュル氏を平成29年度以降も引き続き受け入れ、岡山大学や京都大学コンソーシアムで同氏が行った発表の原稿翻訳部分担当やコメンテーターもつとめた。部局長業務の傍ら行う仕事として、相応の注力を行ったと自己評価する。

【教育】

春～夏学期における学部生対象「ローマ法」講義、全学1回生対象「知性への誘い」講義、秋～冬学期における大学院法学研究科・高等司法研究科学生対象「ローマ法」、学部生・大学院生対象「特別講義(日本における公法と私法の争点)」(英語、オムニバスで1回担当)などを受け持った。

【管理運営】

法学研究科長、総長参与・人文社会科学系戦略会議議長などを務めた。これらに付随して各種の委員職 役職を兼任し、経営協議会、教育研究評議会、教育研究共創室会議、施設マネジメント委員会、教育共創室会議等々の会議に参加した。高等司法研究科と共同で運営する法学会の評議員長をつとめた。部局代表・総長参与としての各種学外会合への参加、出張しての交渉、内外よりの表敬訪問の受け入れ、法学研究科部内及び法学・高等司法両研究科での多種多様な会議 面談、直訴への対応検討等々を行った。約言するに、多種多様で多数の人と面会し、数多くの交渉と決定、意見表明と情報伝達を行った。

【社会貢献】

学外とのインターフェイスとして、大阪大学法学部同窓会青雲会の名誉会長を務めた。
奈良県上牧町の政治倫理審査委員をつとめた(ただし、本年度は実審査案件無し)。